

各 位

上場会社名	ザインエレクトロニクス株式会社
代表者	代表取締役社長 飯塚哲哉
(コード番号)	6769)
問合せ先責任者	取締役経営企画部長 高田康裕
(TEL)	03-3270-0666)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	1,686	1,736	1,073	8,810.37
今回発表予想(B)	12,000	2,093	2,065	1,243	10,210.52
増減額(B-A)	0	406	328	170	
増減率(%)	0.0	24.1	18.9	15.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	9,720	1,015	764	486	3,993.09

修正の理由

通期において、不透明かつ厳しい経済情勢が見込まれながらも当社製品の出荷数量の増加が見込まれるため、業績予想を上方修正しました。

フルHDテレビや倍速テレビに対応した表示制御用LSIを始めとする研究開発品ビジネスを核として新製品を積極的に市場投入・拡販するとともに、事業譲受を完了した画像処理用LSI事業の積極展開を通じて今期における「Act3-3-3」の達成を図る方針です。

当社の研究開発活動においては、「Act3-3-3」の実現に向けてプロジェクトを厳選し、来期以降の事業戦略の範囲を拡大させる観点から、22億39百万円(前期比21.9%増)支出し、第4四半期においても今後の成長の核となる技術の開発を加速する計画としています。高精細テレビ市場に加え、新たな戦略市場への取組みのための研究開発を積極的に加速し、来期の事業戦略範囲の拡大につなげてまいります。

また、業務効率の向上と新製品開発スピードの一層の加速を図るため、平成22年1月中に本社を移転することとしました。事務所の移転に関して見込まれる損失として97百万円を移転費用引当金として当第3四半期連結会計期間に計上しております。

これらにより、最新の市場環境に鑑み、通期業績見通しにつきましては、連結営業利益は20億93百万円(前回予想比24.1%増、前年同期比106.1%増)、連結経常利益は20億65百万円(前回予想比18.9%増、前年同期比170.3%増)、連結当期純利益は12億43百万円(前回予想比15.9%増、前年同期比155.7%増)を見込んでおります。

<ご注意>

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上